

「防災訓練実施結果」の報告について

原子力災害対策特別措置法第13条の2第1項の規定に基づき、防災訓練実施結果について、下記の通り原子力規制委員会へ報告しました。（報告日：2023年1月31日）

記

1. 事業所名称及び場所：

MH I 原子力研究開発株式会社  
茨城県那珂郡東海村舟石川 622 番地 12

2. 訓練実施日：2022年11月11日

3. 訓練のために想定した原子力災害の概要：

【第1部】

試験装置の損傷による放射性ガスの環境への放出と火災が短時間に連続して発生する災害を想定。

【第2部】

燃料集合体をクレーンで移動していた際に誤って燃料集合体を落下させ、燃料棒が破損、放射性ガスが環境に放出され、原子力災害対策特別措置法第15条該当事象に至る原子力災害を想定。

4. 訓練結果の概要：

重大事故等が発生した状況下において、原子力防災組織が有効に機能し、発生事象収束のための対応が迅速かつ適切に取れるようにすることを目的に、招集訓練、避難誘導訓練、通報訓練、モニタリング訓練、広報訓練（模擬記者会見訓練を含む）、後方支援訓練、事故収束訓練を実施しました。訓練シナリオには、3項に記載した災害想定に加え、震度6弱の地震発生、非常用発電機の異常停止、通信機器の故障等の事象も組み入れ、訓練全体を通し、当社の原子力防災組織が有効に機能していることを確認しました。

今後も、社員一体となり防災意識を高め、災害対応に関する基本能力の維持及び発生事象収束への対応能力を向上させるべく、訓練を継続してまいります。

以上